

平成26年度

環境の保全に関して講じた施策の実施状況

甲斐市

目 次

望ましい環境像①	潤いある水と共に快適な生活環境のまち	1
望ましい環境像②	緑に囲まれた自然豊かなまち	8
望ましい環境像③	人と自然とが共生するまち	13
望ましい環境像④	循環型社会づくりが進むまち	18
望ましい環境像⑤	地球環境の保全を推進するまち	22
望ましい環境像⑥	各主体が協働で取り組むまち	26
環境指標一覧	29

望ましい環境像① 潤いある水と共に快適な生活環境のまち

望ましい環境像 ①

潤いある水と共に快適な生活環境のまち

【基本施策】

水環境の保全

公害の防止

環境美化活動の推進

【施策の方向性】

河川等の水質浄化
生活排水対策の推進
水質調査の実施
上水道の整備

公害防止対策の推進
公害苦情への対応
不法投棄の監視強化

環境美事業の推進
環境美化推進システムの構築

取 組	事業内容	主な成果	担当課
市民等による河川清掃の実施 【指標 2】	河川の浄化と水環境の改善を図るため、市民等と連携して、地区一斉河川清掃を継続して実施しています。	<p>清掃方法等の市の実施要領に基づき、各自治会（区）単位で堰や水路等の清掃活動を行いました。</p> <p>○平成 26 年度実施日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竜王地区：4 月 27 日（日） ・敷島地区：12 月 7 日（日） ・双葉地区：7 月 6 日（日） <p>[指標 2] 総合計画の甲斐市市民アンケート調査結果(H27.3)より→ 71.6%</p>	環境課
広報等による啓発	広報等を通じて、河川水質の保全に対する市民意識やモラルの向上を図り、ごみの不法投棄を抑制・防止しています。	市民からの通報等により、ごみや油等が市内の河川に投棄された状況が見受けられたことから、除去や原因等を調査しました。	環境課
水路の整備	状況に応じた水路の整備や改修を行うとともに適正な管理を行い、水辺改善を図っています。	<p>各自治会（区）から要望等に基づき、危険性、緊急性、地域性を考慮し、随時、水路の改修・整備を行うと共に適正な維持管理に努めました。</p> <p>平成 26 年度については、国庫補助事業であります、農業基盤整備促進事業を活用した中で、5 路線、延長 523m、土地改良施設維持管理適正化事業として 2 路線、延長 311m の農業用水路の改修を実施したところであります。</p>	建設課 農林振興課
ため池の整備・管理	災害に強いため池の整備と維持管理をすることにより、水環境の改善と市民の憩いの場である親水空間としての機能の維持に努めています。	平成 26 年度において県営土地改良中山間地域総合整備事業の事業認可を受けたので、菖蒲沢地区の「泉ため池」については平成 27 年度より改修事業の実施予定です。又、「竜地大ため池」・「大久保ため池」については住宅地が近接しているため、農業用施設減災防災事業において測量調査を行い、今後の予定を検討していきます。	農林振興課
ホタルの生息環境づくり	市民の河川水質浄化の意識を高めるため、市民等によるホタル生息環境づくりの保全活動に協力しています。	<p>市内で積極的なホタル保全活動をしている 2 団体について、その活動を支援するため、団体が主催するイベントを広報で周知し、また、一部運営に協力しました。</p> <p>○ホタル保全活動団体</p> <ul style="list-style-type: none"> 信玄堤ホタルゆめ銀河の会（ホタル鑑賞会：6 月 7 日・8 日実施） 米笠ホタル愛育会（米笠ホタルまつり：6 月 21 日実施） 	環境課

取組	事業内容	主な成果	担当課																				
<p>公共下水道事業の推進</p> <p>【指標1】</p>	<p>公共下水道事業を推進するとともに、下水道への接続を促すことにより、河川の水質保全を進めています。</p>	<p>本市の全体計画整備面積 1,776ha のうち、平成 26 年度までに 1,187ha（下水道整備面積 66.85%）の区域において下水道を整備しました。</p> <p>《年度別整備面積と整備率》 全体計画整備面積 1,776ha</p> <table border="1" data-bbox="958 424 1832 576"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度整備面積 (ha)</td> <td>23.08</td> <td>24.04</td> <td>16.66</td> <td>31.52</td> </tr> <tr> <td>累計整備面積 (ha)</td> <td>1,115.06</td> <td>1,139.10</td> <td>1,155.76</td> <td>1,187.28</td> </tr> <tr> <td>整備率 (%)</td> <td>62.78</td> <td>64.13</td> <td>65.17</td> <td>66.85</td> </tr> </tbody> </table> <p>[指標1] 平成 26 年度末 浄化槽等処理人口調査から (下水道処理人口 54,639 人+農排等 105 人+コミュニティプラント 2,020 人+浄化槽 11,173 人) ÷ 人口 74,560 人 =91.1%</p>	年度	23	24	25	26	年度整備面積 (ha)	23.08	24.04	16.66	31.52	累計整備面積 (ha)	1,115.06	1,139.10	1,155.76	1,187.28	整備率 (%)	62.78	64.13	65.17	66.85	<p>下水道課</p>
年度	23	24	25	26																			
年度整備面積 (ha)	23.08	24.04	16.66	31.52																			
累計整備面積 (ha)	1,115.06	1,139.10	1,155.76	1,187.28																			
整備率 (%)	62.78	64.13	65.17	66.85																			
<p>農業集落排水処理施設の管理</p>	<p>寺平地区の生活排水の処理を行う農業集落排水処理施設について、施設の適正な維持管理を行い、水質浄化を図っています。</p>	<p>荒川上流部に位置する寺平地区の生活排水は、農業集落排水処理施設において処理しており、寺平地区全ての世帯（37 世帯）が加入しています。施設・機器等の定期的な保守点検・改修により、適正な排水処理を行っており、常に基準値内の処理水にして河川に放流しています。</p>	<p>下水道課</p>																				
<p>地域し尿処理施設の管理</p> <p>【指標1】</p>	<p>地域し尿処理施設により生活排水の処理を行っている地区について、施設の適正な維持管理を行い、水質浄化を図っています。</p>	<p>敷島台団地と松島団地、双葉登美団地の 3 つの地区において、地域し尿処理施設（コミュニティプラント）により、地区全体の生活排水の処理を行っています。</p> <p>このうち、双葉登美団地については、当該地区住民で組織する双葉登美団地汚水処理施設管理組合が指定管理者となって管理・運営しており、他の 2 地区は市が管理・運営を行っています。</p> <p>3 地区とも、施設・機器等の定期的な保守点検・改修により、適正な排水処理を行っており、常に基準値内の処理水にして河川に放流しています。</p>	<p>下水道課</p>																				

取 組	事業内容	主な成果	担当課																																
合併浄化槽の推進 【指標 1】	公共下水道の計画区域外である睦沢、清川、吉沢、大久保、天狗沢（一部）、牛匂（一部）、米沢、笠石、菖蒲沢、新田の 10 地区において、市が合併浄化槽の設置・管理を行う市町村設置型合併浄化槽整備事業を推進しています。 また、事業以外の浄化槽設置世帯に対しては、適正な維持管理について啓発しています。	本市では、地域再生計画に基づく地域再生計画「‘かい’水環境向上計画」を平成 24 年度に策定し、平成 25 年度から 29 年度までの 5 年間で第 2 次計画期間として、対象世帯数 816 戸のうち 100 戸に合併浄化槽を整備することとし、平成 26 年度は 10 戸の整備を行いました。 <table border="1" data-bbox="929 400 1861 547"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>21 年度</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置(戸)</td> <td>39</td> <td>36</td> <td>19</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>移譲(戸)</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>計(戸)</td> <td>39</td> <td>45</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>22</td> <td>10</td> <td>198</td> </tr> </tbody> </table>	年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	計	設置(戸)	39	36	19	15	20	10	168	移譲(戸)	0	9	1	4	2	0	30	計(戸)	39	45	20	19	22	10	198	環境課
年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	計																												
設置(戸)	39	36	19	15	20	10	168																												
移譲(戸)	0	9	1	4	2	0	30																												
計(戸)	39	45	20	19	22	10	198																												
公共用水域の水質検査 【指標 3】	市内の河川や小河川の水質を継続的に検査し、経年変化の把握と工場や生活排水による河川への影響を調査しています。 また、調査結果は公表するとともに、水環境の保全対策に活用しています。	市内に流れる一級河川等について、環境省が定める「水質汚濁に関する環境基準」に関する水質検査を行いました。 また、検査結果は、広報やホームページで公表しました。 ○人の健康の保護に関する環境基準 7 地点 ○生活環境の保全に関する環境基準 19 地点 [指標 3] BOD 値が平均で 3 mg/l 以下であった地点 → 17 地点 河川 10 地点 + 小河川 9 地点 = 計 19 地点 → 17/19 = 89.5%	環境課																																
安全で安定した水の供給の推進	市の「水道ビジョン」に基づき、安全、安心な水を安定的に供給しています。また、老朽化した水道施設については、計画的に改修・更新しています。	主な施設整備事業として、大原配水池補修工事、新田配水池緊急遮断弁・分水栓設置工事、西八幡配水池配水ポンプ更新工事等を行いました。 その中でも西八幡配水池配水ポンプ更新工事では、ポンプのインバータ化によって、効率的な運転を行い、消費電力と環境負荷の低減に努めました。 また老朽配水管については、下水道管渠整備との同時施工を中心に 1,396.2m、地震対策として管路の耐震化工事を 3,505.65m 行い、更新に努めました。	上水道課																																

取組	事業内容	主な成果	担当課																		
公害防止協定の締結	工場等に対して、公害防止に関する規制基準の遵守を指導するとともに、地域住民の健康と生活環境の保全の観点から必要と認められる場合は、公害防止協定の締結に努めています。	<p>国や条例に基づく特定施設（汚染物質を取り扱う工場）については、県と協力して立ち入り調査を実施し、適正な作業方法等について指導を行いました。</p> <p>また、過去に公害防止協定を締結した1社からは、同協定に基づき、同社における定期的な水質検査の実施・報告を受けるとともに、本市への影響の把握に努めました。</p>	環境課																		
環境測定事業の実施	公害や生活環境への影響等に関連する事項について環境測定を実施し、監視体制を強化しています。	<p>環境に関する各種検査を実施しました。</p> <p>また、検査結果は、広報やホームページで公表しました。</p> <p>○河川水質検査 10 地点 ○小河川水質検査 9 地点 ○地下水水質検査 34 地点 ○河川底質汚泥検査 3 地点 ○土壌ダイオキシン類測定分析検査 2 地点 ○空間放射線量測定 68 地点 ○自動車騒音常時監視 3 地点</p>	環境課																		
アスベスト対策への支援	アスベスト飛散による市民の健康保護の観点から、建築物のアスベストの除去を行う事業者に対して、今後も継続して支援しています。	<p>多数の者が利用する建築物を対象に、事業者が行うアスベストの含有の有無に関する調査費用やアスベストの除去や封じ込め等の措置に対して、国・県の補助制度を利用した市の補助金交付制度を平成 20 年度より実施しています。</p> <p>また、ホームページや広報等により、制度の周知に努めています。</p>	建設課																		
<p>苦情の相談窓口</p> <p>【指標 4】</p>	<p>苦情相談は迅速に対応し、発生原因を調査するなかで、発生源者への改善等について指導を行っています。</p> <p>また、法や条例に基づく指導に該当しない場合は、近隣の生活環境に配慮するための助言や、申立人と発生源者との調整を行っています。</p>	<p>平成 26 年度における野焼きや騒音等に関する苦情相談は 165 件あり、すべて職員による現地調査や聞き取り調査等を行い、発生源者に是正が必要な案件については、行政指導を行いました。</p> <p>○平成 26 年度苦情件数 合計 165 件</p> <table border="1" data-bbox="943 1161 1845 1318"> <thead> <tr> <th>水の汚れ</th> <th>野焼き</th> <th>土壌汚染</th> <th>悪臭</th> <th>騒音</th> <th>振動</th> <th>地盤沈下</th> <th>不法投棄</th> <th>雑草等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 件</td> <td>32 件</td> <td>0 件</td> <td>11 件</td> <td>7 件</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> <td>7 件</td> <td>103 件</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(公害苦情調査)</p> <p>[指標 4] 公害苦情件数→ 上記件数合計 165 件</p>	水の汚れ	野焼き	土壌汚染	悪臭	騒音	振動	地盤沈下	不法投棄	雑草等	5 件	32 件	0 件	11 件	7 件	0 件	0 件	7 件	103 件	環境課
水の汚れ	野焼き	土壌汚染	悪臭	騒音	振動	地盤沈下	不法投棄	雑草等													
5 件	32 件	0 件	11 件	7 件	0 件	0 件	7 件	103 件													

取 組	事業内容	主な成果	担当課												
空き地等への指導	<p>空き地の雑草や空き家について、土地等の所有者等に対して適正な管理を指導しています。また、広報等により適正な管理を啓発しています。</p>	<p>市民からの通報等により、適正な管理が行われていない土地等の所有者等に対し、「甲斐市空き地に繁茂する雑草の除去に関する条例」に基づき、103 件に雑草の除去等について指導を行いました。</p> <p>また、前年度に指導対象となった土地等の所有者等 43 件に対し、雑草が繁茂し始める 7 月上旬に、一斉指導通知を送付しました。</p> <p>○平成 26 年度実績</p> <table border="1" data-bbox="981 533 1677 660"> <thead> <tr> <th></th> <th>件 数</th> <th>面 積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指 導</td> <td>146 件</td> <td>85,390.91 m²</td> </tr> <tr> <td>除 去</td> <td>116 件</td> <td>71,059.79 m²</td> </tr> </tbody> </table>		件 数	面 積	指 導	146 件	85,390.91 m ²	除 去	116 件	71,059.79 m ²	環境課			
	件 数	面 積													
指 導	146 件	85,390.91 m ²													
除 去	116 件	71,059.79 m ²													
放射線の測定	<p>福島第一原子力発電所の事故に伴う市内への影響を監視するため、空間放射線量率の測定を継続的に行うとともに、放射能関連の情報を収集し、情報の提供に努めています。</p>	<p>市役所本館前において空間放射線量を測定し、その結果をホームページで公表しました。</p> <p>また、学校等の市公共施設や私立幼稚園・保育園 68 ヶ所について各施設 2 回空間放射線量の測定を実施し、ホームページで公表しました。</p>	環境課												
ペットの適正飼育	<p>犬や猫等のペットの適正飼育や動物愛護のため、飼い方のマナーやルールについて普及・啓発に努めています。</p>	<p>広報やホームページを通じて、飼い方やマナー等の情報について随時、発信するとともに、近隣市町と共同して、市民を対象とした「犬のしつけ方教室」を開催しました。</p> <p>また、野良犬・野良猫対策として、飼育者による犬や猫の不妊去勢手術に対する補助金を交付しました。</p> <p>○平成 26 年度補助金交付件数</p> <table border="1" data-bbox="981 1204 1621 1321"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>不妊</th> <th>去勢</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>犬</td> <td>58 頭</td> <td>51 頭</td> <td>109 頭</td> </tr> <tr> <td>猫</td> <td>88 頭</td> <td>70 頭</td> <td>158 頭</td> </tr> </tbody> </table>	種類	不妊	去勢	計	犬	58 頭	51 頭	109 頭	猫	88 頭	70 頭	158 頭	環境課
種類	不妊	去勢	計												
犬	58 頭	51 頭	109 頭												
猫	88 頭	70 頭	158 頭												

取組	事業内容	主な成果	担当課
不法投棄の防止・監視体制の強化	<p>不法投棄防止の看板を土地所有者等に提供するとともに、広報等により防止対策の普及・啓発を行っています。</p> <p>また、不法投棄監視員の設置による定期的なパトロールを行い、警察や住民と連携して、監視体制の強化に努めています。</p>	<p>希望する土地所有者 12 名に対して、不法投棄防止の啓発看板を提供しました。</p> <p>また、不法投棄監視員 30 名（竜王 2 名・敷島 20 名・双葉 8 名）を委嘱し、定期的なパトロールを実施するとともに、県の対策協議会と連携して、不法投棄物の撤去を行いました。</p>	環境課
環境美化清掃活動への支援	<p>自治会における河川清掃等の自主的な環境美化・清掃活動を推進するため、活動への支援を行っています。また、ボランティア団体等が実施する清掃活動に対して、ごみ袋の提供等により支援しています。</p>	<p>環境衛生事業補助金交付制度により、市内のすべての自治会（136 自治会）に対し、世帯数に応じた補助金を交付し、地域における自主的な環境美化活動に対する経費負担の軽減を図りました。</p> <p>また、ボランティア団体等が実施する清掃活動には、団体からの申し出により、ごみ袋を無料で提供しました。</p> <p>○平成 26 年度補助金交付額：9,118,750 円 ○自治会における環境美化活動回数：603 回（延べ 41,813 人参加）</p>	環境課
マナーの向上	<p>公園や道路等へのごみのポイ捨てやペットのふん放置を防止するため、マナーの向上について周知・啓もうしています。</p>	<p>広報やホームページ、チラシ作成等により、ペット飼育マナーについて周知・啓もうするとともに、希望者には、ふんの放置を警告する看板を配布しました。</p> <p>また、ふん害苦情の現場を適宜巡回し、ふん害の防止に努めました。</p>	環境課

望ましい環境像② 緑に囲まれた自然豊かなまち

望ましい環境像 ②

緑に囲まれた自然豊かなまち

【基本施策】

農の緑の保全

森の緑の保全

生物多様性の確保

【施策の方向性】

農業基盤の整備
農業の振興、担い手の育成
耕作放棄地の解消

森林の保全活動の推進
地場産材の利活用の推進
間伐材の利用の促進

野生生物の保護
生物多様性の啓発

取 組	事業内容	主な成果	担当課
優良農地の保全	効率的な農業を推進するため、農業振興地域内の農地の転用を規制し、優良農地の確保を図っています。	概ね 10 年を目標として策定している本市の農業振興地域整備計画において、農業の振興を図るべき区域を明らかにし、その土地の農業上の有効利用と農業の近代化のための施策を総合的かつ計画的に推進し、農業振興地域内の農地の転用の規制や優良農地の確保に努めています。 また、計画については、毎年随時見直しを行うとともに、5 年毎に総合見直しを実施しています。	農林振興課
農地の流動化の促進	農業の生産性向上のため、農地の利用集積の円滑化を促進し、農地の流動化と有効利用を図っています。	農業委員会では、農家の高齢化や後継者不足による耕作放棄地の解消策として、農地の貸し借りが円滑に行えるよう農地銀行の設置や国の事業である中間管理事業（農地の貸し借りを公的機関（農業公社など）が仲介）を推進し、農地の流動化と有効利用を図っています。 平成 25 年度の利用権設定件数は 48 件 平成 26 年度の利用権設定件数は 37 件 また、平成 23 年度には、農地等の効率的な利用に向け、農地の集積を促進するため「農地集積円滑化団体」を農林振興課内に設置し、農地の貸し借りが円滑に行えるよう体制を整えました。	農林振興課
施設の整備	農業の生産性の向上及び付加価値を高める施設の整備を促進するとともに、経営規模の拡大を可能とする機器等の導入を支援しています。	平成 26 年度については、農道 4 路線、L=294m、水路 7 路線、L=834m の改修改良を行ないました。それにより農作業が効率的になり、耕作面積の拡張が見込まれます。 県のやまなし農業ルネサンス総合支援事業の補助金を活用し、特産品の販路拡大及び生産性の向上を図るため機器整備を行いました。 ※補助内容 事業費の 1/2 が補助 ○農事組合法人ゆうのう敷島 平成 21 年度 プレハブ冷蔵庫 1 台 平成 22 年度 乗用草刈機 2 台 ○甲斐市竜王赤坂地区活性化協議会 平成 23 年度 プレハブ冷蔵庫 1 台・自動販売機 1 台 平成 25 年度 ツル処理機 1 台・収穫機 1 台・トラクター1 台 畝立てマルチ張り機 1 台・自動消毒機 1 台	農林振興課

取 組	事業内容	主な成果	担当課
<p>地域にあった農産物の生産と普及</p>	<p>地域の特性を生かした農産物のブランド化を推進するとともに、安全で安心な農作物の生産及び普及に努めています。</p>	<p>市では、耕作放棄地の解消と収益性の高い農産物による魅力ある農業の展開を目指して、平成 21 年度に県、市、J A、生産者代表、自治会代表を構成員とした「赤坂地区活性化協議会」を設置し、野菜を中心とした農産物のモデル栽培に取り組んでいます。</p> <p>○農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を活用し、ハウスを建設。平成 21 年 9 月より、ハウス (2,016 m²) による養液栽培で「とまと」の栽培を開始しました。</p> <p>○PR 用ロゴマークの商標登録や生産情報 J A S 規格の認定を受け、ブランド化を図っています。</p> <p>平成 24 年度からは、トマトに続く農作物として、サツマイモ（黄金千貫、安納芋）栽培を開始し、平成 26 年度には収穫した黄金千貫 8 トンを原材料とした焼酎の製造にも取り組みました。</p> <p>また、堆肥別比較のアスパラガス試験栽培を開始し、市内全域での栽培方法を検証しています。</p>	<p>農林振興課</p>
<p>認定農業者への支援と新規就農者の確保</p> <p>【指標 5】</p>	<p>本市の農業の中核を担う認定農業者など、意欲ある担い手を育成・支援しています。また、就農相談や研修支援による新規就農者の確保に努めています。</p>	<p>認定農業者を対象に、効率的・安定的な農業経営の育成を図るため、融資機関が農業者に対して行う農業近代化資金を低利で融通するための利子補給事業に取り組んでいます。</p> <p>○利子補給件数 平成 26 年度 6 件</p> <p>また農業委員会では、平成 23 年度から農家のみなさんが抱える農地に関する問題について、行政書士による無料相談会を実施しています。</p> <p>[指標 5]</p> <p>認定農業者数 20 人 平成 26 年度新たな認定者なし</p>	<p>農林振興課</p>

取 組	事業内容	主な成果	担当課
都市農山村交流の推進 【指標 7】	中山間地域を中心とする地域の活性化を図るため、交流施設や農業体験施設などの整備・充実を進め、都市と農山村との交流を促進しています。	都市農山村交流施設として、敷島地区の中山間地域において地元農家より遊休桑園を市が借り上げ、滞在型 50 区画と日帰り型 25 区画の農園(クラインガルテン園)、クラブハウスが整備されています。 また、平成 19 年度からは、農事組合法人ゆうのう敷島を指定管理者とし、組合独自の様々な事業を行うなかで、都市と農山村の交流が行われています。 ○実施事業 農産物直売、農業体験 ○事業参加者数 平成 26 年度実績値：15,716 人→ [指標 7]	農林振興課
森林の機能の維持・回復	枝打ちや間伐等の手入れなどの森林整備計画に沿った指導を行い、森林機能の維持に努めます。 また、土砂災害に強い健全な森林の保全・育成を図っています。	木材生産の他、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全等の森林の機能の調和を図りつつ、適正な森林の造成を計画的かつ効率的に行うことができました。 平成 23 年度 除間伐・下刈り 3.14 h a 植林 0.58 h a 平成 24 年度 除間伐・下刈り 5.23 h a 植林 2.08 h a 平成 25 年度 除間伐・下刈り 4.25 h a 植林 2.08 h a 平成 26 年度 除間伐・下刈り 5.78 h a 植林 1.87 h a	農林振興課
森林資源の適正な管理	松くい虫の被害が広がっている地域においては、引き続き計画的に駆除を行っています。	松くい虫等の早期駆除、及びそのまん延の防止に努め森林の保全を図るように事業を推進しました。 平成 23 年度松くい虫防除数量 755 m ³ 平成 24 年度松くい虫防除数量 574 m ³ 平成 25 年度松くい虫防除数量 525 m ³ 平成 26 年度松くい虫防除数量 410 m ³	農林振興課

取組	事業内容	主な成果	担当課
鳥獣被害への防止対策	鳥獣による農作物や生態系への被害について、必要に応じて有害鳥獣の適切な捕獲に努めるなどの防止対策を支援しています。	<p>野生鳥獣による農林業等の被害防止対策を総合的かつ計画的に実施するため、甲斐市鳥獣害防止対策協議会を設置し、各種事業に取り組んでいます。</p> <p>○県営中山間地域総合整備事業により設置した防止柵を修繕。 1件(下芦沢・上福沢・下福沢地区)</p> <p>○平成26年度有害鳥獣捕獲実績 158羽 (カラス90羽、スズメ19羽、ムクドリ19羽、ドバト30羽) 2頭(クマ1頭、サル1頭)</p> <p>○平成26年度管理捕獲実績 150頭(イノシシ63頭、ニホンジカ87頭)</p>	農林振興課
耕作放棄地の有効活用 【指標6】	耕作放棄地の発生防止や解消のため、各種事業に取り組むとともに、有効活用策について調査・研究しています。	<p>竜王赤坂地区活性化事業により、赤坂地区周辺の約4,400㎡の遊休農地を活用し、「黄金千貫」「安納芋」のさつまいも栽培事業に取り組み、耕作放棄地の解消に努めています。</p> <p>平成26年度は、さつまいも栽培面積を拡大して約8,700㎡の農地で事業を実施しました。</p> <p>[指標6] 耕作放棄地/(耕地面積+耕作放棄地) H26年度 3,004,884㎡/14,903,267㎡=20.2% H25年度 3,153,655㎡/15,088,233㎡=20.9%</p>	農林振興課
自然環境の保護の推進 【指標8】 【指標9】 【指標10】 【指標13】	<p>天然記念物等の貴重な自然を保護するため、市民参加型の環境保護活動を推進しています。</p> <p>また、自然観察会や自然を利用した場所での環境学習を推進しています。</p>	<p>新たな市民参加型の環境学習として、平成23年度より「自然観察ツアー」と「自然観察会」を企画・実施し、自然保護や身近な自然を体験することにより、環境保護活動の意識高揚を促しました。</p> <p>○環境ツアー「自然観察ツアー」 平成26年10月3日実施 高尾山散策 参加者40名</p> <p>○環境講座「自然観察会」 平成26年11月6日実施 ふるさと自然観察路散策 参加者16名</p> <p>自然環境保全地区管理として茅ヶ岳・観音峠景観保全地区及び自然記念物であるホッチ峠のマンジュウ石について巡視、管理を行いました。</p> <p>[指標8] 茅ヶ岳・観音峠景観保全地区 1か所 [指標9] 自然観察会等開催 2回実施 [指標10] 天然記念物の指定数16 寶珠寺のヒイラギが枯死 1減 [指標13] 総合計画の甲斐市市民アンケート結果より→12.0%</p>	環境課

望ましい環境像 ③

人と自然とが共生するまち

【基本施策】

優れた景観の保全・整備

市街地の緑の創出

【施策の方向性】

良好な景観の保全
街並み景観の整備
優良宅地の供給の促進

市街地緑化の推進
公園整備の推進

取 組	事業内容	主な成果	担当課
棚田・里地里山の景観	ふるさとの風景をつくる棚田を保全するため、市民団体等による活動を支援します。また、生活に密着した貴重な財産である里地里山について、人と自然との共生する場所として保全、活用を図っています。	○平成 26 年度敷島棚田等農耕文化保存協会会員 26 名 田植え、ろうそくまつり、稲刈り、脱穀、定期総会他 年 13 回活動	農林振興課
市街地における良好な景観の創出 【指標 1 1】 【指標 1 2】 【指標 1 4】	市民や事業者の協力を得て、市街地景観や沿道景観を保全し、潤いややすらぎを感じられる都市空間の創造に取り組んでいます。	市街地における良好な景観の創出を行うため、山梨県屋外広告物条例及び甲斐市屋外広告物要綱により規制等を行い、良好な景観の保全に努めました。 市民等から公募したメンバーによる市民懇談会から、本市の景観形成の方向性や景観を支える活動のあり方などを協議・検討した成果をまとめた「景観まちづくり市民プラン」が市に提案されました。その提案を基に、市民・行政・事業者等の協働による景観まちづくりについて検討を進め、平成 27 年 2 月に甲斐市景観計画を策定しました。 [指標 11] 地域計画(篠原地区 23. 8ha) 建築協定(響が丘 24. 2ha、四ツ谷 1. 3ha) 合計 49. 3ha [指標 12] 総合計画の甲斐市市民アンケート結果より→68. 8% [指標 14] 総合計画の甲斐市市民アンケート結果より→55. 8%	建設課 都市計画課
景観施策の推進	良好な景観の魅力を引き立てるため、景観に関する基本的な施策の方向性について検討しています。	関係各課で構成する庁内検討会及び有識者や関係団体の推薦する者、市民などで構成する策定委員会において素案の検討を行い、平成 27 年 2 月に甲斐市景観計画を策定しました。	都市計画課
優れた眺望景観の保全・活用	市内には、富士山や茅ヶ岳などの眺望が素晴らしい場所が多く存在するので、そのような場所を観光スポットとして生かす取り組みを行っていきます。	関係各課で構成する庁内検討会及び有識者や関係団体の推薦する者、市民などで構成する策定委員会において素案の検討を行い、平成 27 年 2 月に甲斐市景観計画を策定しました。その中で、優れた眺望景観は、甲斐市の景観特性であり、守り生かす取り組みを景観まちづくりの基本方針の一つとしています。	都市計画課

取 組	事業内容	主な成果	担当課																								
宅地開発等に係わる適正な環境指導・規制の推進	民間の宅地開発等に対する適切な指導・誘導を行うとともに、暮らしやすい住環境の整備に努めています。	平成 18 年 4 月、県から都市計画法及び宅地開発事業の基準に関する条例の事務移譲を受け、市が申請受付、許可等の事務処理を行う中で、適切な指導を行っています。 開発行為者に対する指導指針である「甲斐市宅地開発指導要綱」については、平成 25 年 4 月に改正を行いました。 また、市内の開発許可面積の統一を図り、計画的かつ安全で良好な市街地の形成及び居住空間の整備を推進するため、都市計画法施行令の規定に基づく開発行為の規模を定める条例の制定を行いました。	建設課																								
市街地整備の推進	地域に息づく歴史・文化や豊かな自然環境などの特性を生かした良質な都市空間の形成を図り、市民が誇りと愛着を感じることが出来るまちづくりを推進します。	塩崎駅周辺整備事業において、歴史・文化や豊かな自然環境などの特性を生かしながら、JR 塩崎駅の整備に取り組んでいます。 また、JR 塩崎駅、公共施設及び大規模集客施設（ラザーウォーク甲斐双葉）をアクセスする市道改良に伴い、国道、県道の一体工事を進めています。	都市計画課																								
緑化の推進 【指標 15】	市民・地域・企業などと連携して、市内の住宅や公共用地への植栽を進め、花と緑のあふれるまちづくりを推進しています。	市では、住宅や事業所の公道に面した部分に、補助用件に該当する生け垣・花壇を新設する場合、その費用の一部を補助する制度を推進しています。 <table border="1" data-bbox="938 948 1823 1099"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>補助件数</th> <th>生垣延長</th> <th>花壇面積</th> <th>植樹数</th> <th>花き数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>6 件</td> <td>48m</td> <td>14 m²</td> <td>111 本</td> <td>225 株</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>11 件</td> <td>118m</td> <td>6 m²</td> <td>291 本</td> <td>40 株</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>5 件</td> <td>47m</td> <td>20 m²</td> <td>178 本</td> <td>46 株</td> </tr> </tbody> </table> [指標 15] 総合計画の甲斐市市民アンケート結果より→61.7%	年度	補助件数	生垣延長	花壇面積	植樹数	花き数	24	6 件	48m	14 m ²	111 本	225 株	25	11 件	118m	6 m ²	291 本	40 株	26	5 件	47m	20 m ²	178 本	46 株	都市計画課
年度	補助件数	生垣延長	花壇面積	植樹数	花き数																						
24	6 件	48m	14 m ²	111 本	225 株																						
25	11 件	118m	6 m ²	291 本	40 株																						
26	5 件	47m	20 m ²	178 本	46 株																						
沿道緑化の推進	緑化可能な幅員を持つ幹線道路や、主要な生活道路の整備に関しては、景観を考慮しつつ、在来種を中心とした街路樹等による道路の緑化を進めています。	道路改良事業を進めている開発 1 号線については、街路樹による沿道緑化を実施しました。	都市計画課																								

取組	事業内容	主な成果	担当課								
花と緑のあふれるまちづくり	「ガーデンシティ・甲斐」の実現に向け、「花と緑のまちづくり推進協議会」と連携して市民の緑化意識の高揚を図っています。	<p>市内の公共施設や道路沿い、広場などの花壇は甲斐市花と緑のまちづくり推進協議会で維持管理を行っています。また、年2回、春と秋に一斉植花を実施しており、春は松葉ボタンとベゴニア、冬はビオラとパンジーを植花しています。</p> <table border="1" data-bbox="1079 405 1657 485"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>58団体</td> <td>61団体</td> <td>64団体</td> </tr> </tbody> </table>		24年度	25年度	26年度	団体数	58団体	61団体	64団体	都市計画課
	24年度	25年度	26年度								
団体数	58団体	61団体	64団体								
緑のカーテンの普及	各公共施設の管理者に対し、ゴーヤやアサガオなどのつる性植物による「緑のカーテン」の設置を呼びかけています。また、市民、事業所での取り組みを推進しています。	<p>市役所本館・新館や学校・保育園等の公共施設において、緑のカーテンに取り組みました。</p> <p>また、市民への啓発事業として「緑のカーテンづくり講座」を開催するとともに、講座参加者のうちモニター6名を決定し、実際に取り組みを行うなかで、その取り組みをホームページで公表しました。</p>	環境課 関係課								
都市公園の整備 【指標16】	既存公園の配置状況や今後の人口動向を勘案しつつ、公園未整備地区への都市公園の整備を検討します。また、既存市立公園等に対する都市公園の位置づけを図っています。	<p>竜地公園を市立公園として開設し、釜無川スポーツ公園が県からの移譲がありました。</p> <p>今後は、現在計画中の上八幡公園を含めて市民1人当たりの都市公園面積が8.0㎡となるよう、公園整備を進めます。</p> <p>[指標16] 都市公園面積 52.55ha/H27年3月末人口 74,475人 \div 7.0㎡/人</p>	都市計画課								
緑豊かな生活環境の創出	緑豊かな生活環境を創出し、潤いあるまちづくりの推進を図っています。	<p>市民の新築や誕生、結婚時に記念となる苗木を配布し、生活環境での緑の創出を図っています。</p> <p>○平成26年度苗木配布数：589本（年3回に分けて配布）</p> <p>○苗木の種類：ハナミズキ赤・白、カシ、月桂樹、モミジ、ゴールドクレスト</p>	都市計画課								

取組	事業内容	主な成果	担当課																				
身近な憩いの場の設置	土地所有者の理解を得て、花の名所、社寺林、遊休地、ため池などの緑を生かした、身近で自然に親しめる憩いの場の設置を検討します。	<p>茅ヶ岳東部広域農道沿いが将来のサクラの名所となるよう、地元中学生 300 人により、サクラの苗木の記念植樹を行いました。</p> <p>花壇設置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民地など</td> <td>47 箇所</td> <td>45 箇所</td> <td>41 箇所</td> </tr> <tr> <td>国・県</td> <td>17 箇所</td> <td>18 箇所</td> <td>18 箇所</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>71 箇所</td> <td>71 箇所</td> <td>67 箇所</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>135 箇所</td> <td>134 箇所</td> <td>126 箇所</td> </tr> </tbody> </table>		24 年度	25 年度	26 年度	民地など	47 箇所	45 箇所	41 箇所	国・県	17 箇所	18 箇所	18 箇所	市	71 箇所	71 箇所	67 箇所	合計	135 箇所	134 箇所	126 箇所	都市計画課
	24 年度	25 年度	26 年度																				
民地など	47 箇所	45 箇所	41 箇所																				
国・県	17 箇所	18 箇所	18 箇所																				
市	71 箇所	71 箇所	67 箇所																				
合計	135 箇所	134 箇所	126 箇所																				
ポケットパークの設置	主要な交差点や道路、河川沿いなどにおいて、整備後の残地を利用したポケットパークの設置を進めています。	<p>竜王駅周辺整備に伴い設置された、3 箇所のポケットパークを管理しており、平成 24 年度から、県事業の貢川の河川改修に併せて設置された 1 箇所を山梨県と管理協定を締結し、管理しています。</p> <p>○市内ポケットパーク設置数：4 箇所</p>	都市計画課																				
緑の情報提供	花や紅葉などの季節の情報や、市民・企業の活動状況、緑化施策の内容などの情報について、広報やホームページ等により幅広い情報の提供に努めています。	<p>年間を通じて、緑化に関する基準、生け垣設置補助の推進、緑化記念樹の交付、甲斐市花と緑のまちづくり推進協議会に関すること、また、親子ふれ愛寄せ植え教室においては、JR 竜王駅南北自由通路への展示及びホームページへの掲載をしています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>広報</th> <th>ホームページ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑化に関する基準</td> <td>今後掲載する方向</td> <td>常時掲載中</td> </tr> <tr> <td>生け垣・花壇補助</td> <td>2 回</td> <td>常時掲載中</td> </tr> <tr> <td>記念樹の交付</td> <td>今後掲載する方向</td> <td>常時掲載中</td> </tr> <tr> <td>花と緑のまちづくり推進協議会</td> <td>今後掲載する方向</td> <td>常時掲載中</td> </tr> <tr> <td>親子寄せ植え教室</td> <td>開催・報告各 1 回</td> <td>開催・報告各 1 回</td> </tr> </tbody> </table>	事業	広報	ホームページ	緑化に関する基準	今後掲載する方向	常時掲載中	生け垣・花壇補助	2 回	常時掲載中	記念樹の交付	今後掲載する方向	常時掲載中	花と緑のまちづくり推進協議会	今後掲載する方向	常時掲載中	親子寄せ植え教室	開催・報告各 1 回	開催・報告各 1 回	都市計画課		
事業	広報	ホームページ																					
緑化に関する基準	今後掲載する方向	常時掲載中																					
生け垣・花壇補助	2 回	常時掲載中																					
記念樹の交付	今後掲載する方向	常時掲載中																					
花と緑のまちづくり推進協議会	今後掲載する方向	常時掲載中																					
親子寄せ植え教室	開催・報告各 1 回	開催・報告各 1 回																					

望ましい環境像④ 循環型社会づくりが進むまち

望ましい環境像 ④

循環型社会づくりが進むまち

【基本施策】

廃棄物の発生抑制

リサイクルの推進

【施策の方向性】

ごみ・し尿処理施設の検討・研究

ごみの発生・排出の抑制

環境にやさしいまちづくりの
推進

廃棄物の分別の徹底と有効利用

取 組	事業内容	主な成果	担当課																				
広域処理施設の維持管理等	各広域処理施設の状況に応じ、施設のあり方や維持管理について検討・研究するとともに、県内自治体で整備する廃棄物最終処分場の建設・運営に参画します。	本市のごみを処理している中巨摩地区広域事務組合と峡北広域行政事務組合は、それぞれに施設の償却と地元協定期限があることから、各組合事務局との連絡を密にして、情報等の収集・共有に努めました。 また、県内一般廃棄物最終処分場の建設に向けた組織の立ち上げに協力しました。	環境課																				
し尿の適切な処理の推進	し尿処理方法について、公共下水道や合併浄化槽の普及を進め、広域排水処理の改善を図っています。	公共下水道、農業集落排水処理事業、地域し尿処理施設、市町村設置型合併浄化槽整備事業において、それぞれ事業の推進・維持管理等により、適正なし尿の処理を進めています。	環境課 下水道課																				
ごみ減量化の推進と一般廃棄物の適正な収集 【指標 1 8】	ごみの分別収集の徹底等により、ごみの減量化を推進しています。また、家庭から排出されるごみを計画的に収集するとともに、分別方法やルールなどの周知徹底を行い、適正な排出を促しています。	自治会（区）を通じてのごみカレンダーの市内全戸配布、ホームページへの掲載により、ごみの収集日や区分別の内容、注意事項等を周知し、市民の適正なごみの分別・収集を促しました。 平成 26 年度のごみの総処理量は、16,358.9 t でした。また、一人 1 日あたりのごみの排出量は 602 g でした。 ○ごみの処理量 <table border="1" data-bbox="958 927 1827 1078"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>可燃ごみ</th> <th>不燃ごみ</th> <th>粗大ごみ</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 24 年度</td> <td>15,299.4 t</td> <td>1,077.6 t</td> <td>291.4 t</td> <td>16,668.4 t</td> </tr> <tr> <td>平成 25 年度</td> <td>14,950.8 t</td> <td>1,056.5 t</td> <td>317.6 t</td> <td>16,324.9 t</td> </tr> <tr> <td>平成 26 年度</td> <td>14,988.4 t</td> <td>1,034.9 t</td> <td>335.6 t</td> <td>16,358.9 t</td> </tr> </tbody> </table> また、ごみ収集小屋の新設・修繕について補助金制度を設け、管理者である自治会（区）の経費負担を軽減し、ごみ収集の環境を整えています。 ○平成 26 年度実績：51 件（2,115,000 円） [指標 1 8] 一人一日当たりのごみの排出量 16,358.9 t / 74,475 人 / 365 日 ≒ 602 g	年度	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	計	平成 24 年度	15,299.4 t	1,077.6 t	291.4 t	16,668.4 t	平成 25 年度	14,950.8 t	1,056.5 t	317.6 t	16,324.9 t	平成 26 年度	14,988.4 t	1,034.9 t	335.6 t	16,358.9 t	環境課
年度	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	計																			
平成 24 年度	15,299.4 t	1,077.6 t	291.4 t	16,668.4 t																			
平成 25 年度	14,950.8 t	1,056.5 t	317.6 t	16,324.9 t																			
平成 26 年度	14,988.4 t	1,034.9 t	335.6 t	16,358.9 t																			

取組	事業内容	主な成果	担当課																		
グリーン購入の推進	市の物品調達においてグリーン購入を進めています。	従前から古紙配合用紙の購入、裏面利用、分別収集などを実施し、環境負荷の減少を図っている。	総務課																		
生ごみの減量化	家庭から排出する生ごみについて、ごみの減量化と有機肥料としての有効利用のため、生ごみ処理機の購入に対して支援しています。	<p>市民の生ごみ処理機の購入に対する補助金交付制度（補助金の額：購入費の2分の1（限度額2万円））を設け、一般家庭における生ごみの減量化・肥料化を促しました。</p> <p>○平成26年度実績：22件（243,800円）</p>	環境課																		
剪定枝の回収	果樹や庭木等の剪定枝の回収を行い、廃棄物かを防ぐとともに、チップの有効活用を図っています。	<p>市内2か所の剪定枝処理場において、市民が持ち込む剪定枝や市公共施設の剪定枝を受入れて粉碎・チップ化し、希望者に配布しました。</p> <p>○平成26年度実績</p> <table border="1" data-bbox="978 788 1827 976"> <thead> <tr> <th rowspan="2">処理場</th> <th colspan="2">持ち込み</th> <th rowspan="2">搬出</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西八幡剪定枝粉碎場</td> <td>4,943件</td> <td>884.8t</td> <td>477件</td> </tr> <tr> <td>自然休養村管理センター</td> <td>2,538件</td> <td>221t</td> <td>515件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,411件</td> <td>1,105.8t</td> <td>992件</td> </tr> </tbody> </table>	処理場	持ち込み		搬出	件数	数量	西八幡剪定枝粉碎場	4,943件	884.8t	477件	自然休養村管理センター	2,538件	221t	515件	計	7,411件	1,105.8t	992件	環境課
処理場	持ち込み			搬出																	
	件数	数量																			
西八幡剪定枝粉碎場	4,943件	884.8t	477件																		
自然休養村管理センター	2,538件	221t	515件																		
計	7,411件	1,105.8t	992件																		

取組	事業内容	主な成果	担当課										
資源物の回収 【指標 17】	リサイクル率の向上を図るため、自治会や団体等が行う資源物の回収活動に対して支援しています。 また、リサイクルステーションの利用について周知を図っています。	資源再利用（有価物回収）運動報奨金交付制度により、自治会（区）や育成会、老人クラブ等 113 団体が行うリサイクル活動に対して、5 円/kg の報奨金を交付しました。 また、竜王・敷島・双葉地区にリサイクルステーションを設置し、資源ごみの回収について市民の利便性を図るとともに、ホームページにおいて、リサイクルステーションの利用や収集方法等について周知しました。 ○平成 26 年度資源再利用（有価物回収）運動報奨金交付制度 <table border="1" data-bbox="983 611 1834 724"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施団体</th> <th rowspan="2">回収量 (自治会等)</th> <th rowspan="2">報奨金</th> </tr> <tr> <th>団体数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>113 団体</td> <td>1,384 回</td> <td>1,541 t</td> <td>7,443,545 円</td> </tr> </tbody> </table> ○平成 26 年度資源ごみ回収量：2,921.2 t（リサイクルステーション分 1,380.2 t） [指標 17] 資源ごみ/一般廃棄物処理量（広域処理+資源ごみ） $2,921.2t / (16,358.9t + 2,921.2t) \approx 15.2\%$	実施団体		回収量 (自治会等)	報奨金	団体数	回数	113 団体	1,384 回	1,541 t	7,443,545 円	環境課
実施団体		回収量 (自治会等)	報奨金										
団体数	回数												
113 団体	1,384 回	1,541 t	7,443,545 円										
分かり易い分別活動の周知	広報やパンフレット等により、分かり易い適正な分別方法を提供し、廃棄物の分別の重要性や必要性について周知しています。	広報やホームページにおいて、分別方法等について周知しました。 また、平成 23 年度から紙ごみの減量・分別を促進するため、「その他紙」として分別収集していた紙類の内容を拡大し、「ミックス紙」として分別収集を開始しました。	環境課										
廃食油の回収及び B D F の利用 【指標 19】	一般家庭等から排出される廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料（B D F）として有効に活用しています。	給食センター等の公共施設の廃食油や、竜王・敷島・双葉の 3 庁舎で一般家庭からの廃食油を回収し、民間業者に提供して B D F を精製しています。 また、精製した B D F は、ごみ収集運搬車の燃料として使用しました。 ○平成 26 年度廃食油回収量及び B D F 精製量 <table border="1" data-bbox="983 1278 1834 1358"> <thead> <tr> <th>3 庁舎</th> <th>公共施設</th> <th>計</th> <th>B D F 精製量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,233ℓ</td> <td>7,310ℓ</td> <td>9,543ℓ</td> <td>8,500ℓ</td> </tr> </tbody> </table> [指標 19] 3 庁舎における回収量 2,233ℓ	3 庁舎	公共施設	計	B D F 精製量	2,233ℓ	7,310ℓ	9,543ℓ	8,500ℓ	環境課		
3 庁舎	公共施設	計	B D F 精製量										
2,233ℓ	7,310ℓ	9,543ℓ	8,500ℓ										

望ましい環境像⑤ 地球環境の保全を推進するまち

望ましい環境像 ⑤

地球環境の保全を推進するまち

【基本施策】

再生可能エネルギーの
利用促進

地球温暖化の防止

【施策の方向性】

新エネルギーの調査・研究
再生可能エネルギーの普及・促進

低炭素社会の構築
省エネルギーの推進

取組	事業内容	主な成果	担当課
バイオマス資源の利用方法の確立	農業活動や森林の間伐等から発生する木材について、バイオマス資源のエネルギーとしての有効な利用方法を検討しています。	平成 26 年度から市内小中学校、保育園の給食残渣を回収し、液肥の生成を行い、市民への配布を行いました。 また、バイオマス資源の活用について検討を行いました。	環境課
公共施設への再生可能エネルギーの導入 【指標 2 0】	新たな公共施設の建設や増改築する際、地球温暖化防止や省エネルギー等の観点から、太陽光発電パネルなどの再生可能エネルギー利用設備の導入について、費用対効果等の効果面を検討しています。	庁舎や学校等に太陽光発電パネルや地中熱ヒートポンプ、街路灯に蓄電池を備えた太陽光発電パネルを設置しています。 平成 26 年度は竜王北保育園に太陽光 20kW と蓄電池 16.2kW、竜王西保育園に太陽光 20kW と地中熱ヒートポンプを設置しました。 [指標 2 0] 15 箇所 矢木羽湖公園、玉幡公園、竜王駅、釜無川レクリエーションセンター、竜王庁舎、竜王小学校、竜王北小学校、双葉体育館、敷島庁舎、竜王中央保育園、島上条公園、竜王東保育園、敷島保育園、竜王北保育園、竜王西保育園、	関係課
太陽エネルギー利用設備導入の推進 【指標 2 1】	一般住宅における再生可能エネルギー利用設備の導入を普及・拡大するため、太陽光発電システムや太陽熱利用機器の設置を推進しています。	平成 24 年度から太陽エネルギー利用設備導入促進奨励金交付制度を導入し、太陽光システム及び太陽熱システムの設置を推進しました。 平成 26 年度実績 ○太陽光 251 件（累計 967 件） ○太陽熱 2 件（累計 8 件） [指標 2 1] (平成 24 年末東電調査件数 1,599 件+平成 25 年度実績 394 件+平成 26 年度実績 255 件) / 30,655 世帯=7.33%	環境課
メガソーラー発電所の誘致	市独自でのメガソーラー発電所の誘致について研究します。また、県や民間企業が行うメガソーラー発電所の設置事業について協力しています。	双葉地区にメガソーラーの設置計画があり、環境に与える影響等の問題について甲斐市としての意見を提出しました。	環境課
グリーン購入の推進	市の物品調達においてグリーン購入を進めています。	従前から古紙配合用紙の購入、裏面利用、分別収集などを実施し、環境負荷の減少を図りました。	総務課

取組	事業内容	主な成果	担当課																					
新エネルギーに関する普及・啓発	広報やホームページ、環境学習会を通じて、新エネルギーに関する情報の提供、普及・啓発に努めています。	平成20年度から実施している親子環境ツアーでは、「新エネルギー」をテーマとして実施しており、平成26年度は、2日間、40組80名の親子が参加し、「はまぎんこども宇宙科学館」「三菱みなとみらい技術館」で環境、新エネルギーについて学習しました。	環境課																					
地球温暖化対策実行計画の推進 【指標24】	甲斐市地球温暖化対策実行計画に基づき、市の事務事業における温室効果ガスの排出削減に取り組んでいます。	<p>平成24年度まで第1次エコアクションプランに基づき削減率4%の目標を大幅に達成しました。平成25年度からは第2次エコアクションプランに基づき取組を行いました。</p> <p style="text-align: right;">(単位: kg-CO2)</p> <table border="1" data-bbox="958 564 1809 735"> <thead> <tr> <th>平成18年度 (基準年度)</th> <th>平成24年度 (第1次4年目)</th> <th>平成25年度 (第2次1年目)</th> <th>平成26年度 (第2次2年目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,070,855</td> <td>5,293,178</td> <td>5,308,923</td> <td>5,155,256</td> </tr> <tr> <td></td> <td>△ 12.81%</td> <td>△ 12.55%</td> <td>△ 15.08%</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、これらの内容については、ホームページで公表します。</p> <p>[指標24] 目標達成率 15.08%</p>	平成18年度 (基準年度)	平成24年度 (第1次4年目)	平成25年度 (第2次1年目)	平成26年度 (第2次2年目)	6,070,855	5,293,178	5,308,923	5,155,256		△ 12.81%	△ 12.55%	△ 15.08%	関係課									
平成18年度 (基準年度)	平成24年度 (第1次4年目)	平成25年度 (第2次1年目)	平成26年度 (第2次2年目)																					
6,070,855	5,293,178	5,308,923	5,155,256																					
	△ 12.81%	△ 12.55%	△ 15.08%																					
市内公共交通の充実 【指標22】 【指標23】	<p>自動車による温室効果ガス削減に向けて、環境負荷が少ない交通環境を整えるため、甲斐市民バスの運行を実施しています。</p> <p>今後も利用状況を検証しながら、運行の継続を図ります。</p>	<p>24年度に実証運行を終え、25年度から本格運行を実施しました。</p> <p>25年度、26年度ともに運行継続基準を下回る路線があったことから、市民のニーズに即した改善策を提案しています。</p> <p>【甲斐市民バス 1便あたり利用者】</p> <table border="1" data-bbox="940 1051 1848 1321"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>運行継続基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山梨大学医学部附属病院線</td> <td>5.15人</td> <td>5.06人</td> <td rowspan="3">5人</td> </tr> <tr> <td>竜王～双葉線</td> <td>4.35人</td> <td>4.31人</td> </tr> <tr> <td>敷島～双葉線</td> <td>4.06人</td> <td>4.06人</td> </tr> <tr> <td>敷島北部線(睦沢・清川方面)</td> <td>3.14人</td> <td>3.29人</td> <td rowspan="2">3人</td> </tr> <tr> <td>双葉北部線</td> <td>3.11人</td> <td>2.97人</td> </tr> </tbody> </table> <p>[指標22] 総合計画の甲斐市市民アンケート調査結果→36.2%</p> <p>[指標23] 山梨県統計データバンクより→0.98台</p>	路線名	25年度	26年度	運行継続基準	山梨大学医学部附属病院線	5.15人	5.06人	5人	竜王～双葉線	4.35人	4.31人	敷島～双葉線	4.06人	4.06人	敷島北部線(睦沢・清川方面)	3.14人	3.29人	3人	双葉北部線	3.11人	2.97人	企画財政課
路線名	25年度	26年度	運行継続基準																					
山梨大学医学部附属病院線	5.15人	5.06人	5人																					
竜王～双葉線	4.35人	4.31人																						
敷島～双葉線	4.06人	4.06人																						
敷島北部線(睦沢・清川方面)	3.14人	3.29人	3人																					
双葉北部線	3.11人	2.97人																						

取組	事業内容	主な成果	担当課
公用車へのエコカーの導入	市の公用車については、適正な台数を把握し、買い替え時には低燃料車やハイブリット車の導入に努めています。	適正な車両台数に努め、地球温暖化防止、省エネルギー等を図りました。	総務課
節電の周知・啓発と家庭における省エネ行動の促進	節電行動計画に基づき、市が率先して節電対策に取り組むとともに、市民、事業者に対して節電の取り組みや省エネルギー活動を促進するための周知、啓発を行なっています。	東日本大震災以降、市公共施設で新電力への切替や節電に努めた結果、平成 26 年度は前年と比較して 326, 221kWh の電力を削減しました。また、広報やホームページに、家庭における省エネルギー、節電への意識を高める記事を掲載し、周知・啓発を行いました。	総務課 環境課
クールビズ、ウォームビズの普及促進	オフィス活動に伴うエネルギーの消費を減少するため、クールビズを市が率先して実施しています。	平成 26 年度は、5 月から 10 月までをクールビズを設定し、職員に周知するとともに、広報で実施についての記事を掲載しました。	人事課
公共施設への LED 照明等の省エネ機器の導入検討	市の公共施設の照明設備を調査、把握し、LED 照明への切り替えによる節電効果、費用対効果等について検証しています。	公共施設の建設や増改築をする際は、費用対効果から省エネ照明器具等を選択している。	総務課 関係課

望ましい環境像⑥ 各主体が協働で取り組むまち

望ましい環境像 ⑥

各主体が協働で取り組むまち

【基本施策】

協働の取組体制の構築

環境情報の提供と共有

【施策の方向性】

協働のまちづくりの推進

環境教育・学習の充実

環境情報の提供

取 組	事業内容	主な成果	担当課
三位一体によるより良い環境づくり 【指標 2 6】 【指標 2 8】	市民参加と協働によるまちづくりを推進するため、関連する制度や仕組みの整備を進め、三位一体によるより良い環境づくりに取り組んでいます。	協働のまちづくりを推進するため、平成 25 年度に制定した「甲斐市まちづくり基本条例」のパンフレットを作成し、行政委員及び市内 NPO 等に配布するとともに、市ホームページにおいて周知し、広報甲斐においても 11 月号から 7 回にわたり連載し、まちづくり基本条例と協働について周知しました。 また、平成 27 年 1 月には協働のまちづくりを実践するため、市が行うべき基本的事項を示した「甲斐市・協働のまちづくり基本方針」を定めました。 その他、平成 26 年 7 月には市民と行政との対話を通じて、協働のまちづくりを推進するため、本竜王地区自治会合同会議と市民対話集会を開催しました [指標 2 6]平成 26 年度市民公募委員を含む附属機関 8/附属機関 61 ≒13% [指標 2 8]パブリックコメントを求めた件数→9 件	秘書政策課
各種団体との連携強化 【指標 2 7】	NPO 法人・ボランティア団体等が、より効果的な活動が得られるよう、情報交換や相互交流など連携する場の確保に努めています。	NPO 法人・ボランティア団体等の情報交換・交流の場を設けるため他市町村市民活動担当者会議などに出席し、調査・研究を行いました。 [指標 2 7] 主たる事務所が甲斐市にあり活動内容に環境保全を掲げる NPO 法人数 → 8	市民活動支援課
自治会組織の活性化	各地域の住民の自主的な活動を推進するため、自治会組織の活性化について支援しています。	自治会(区)の自主的かつ活発な活動を促すため、行政連絡調整交付金制度により、すべての自治会に対して世帯数に 900 円を乗じた交付金を交付しました。また、全自治会(区)を対象とした研修会及び役員会等を通じて、情報の提供や市の各事業を報告し、自治会(区)の活動・運営等についての円滑化に努めました。 ○平成 2 6 年度行政連絡調整費交付金総額：26,852,400 円	市民活動支援課

取 組	事業内容	主な成果	担当課
環境教育の推進 【指標 2 5】	学校教育や生涯学習と連動した環境学習を推進しています。 また、環境副読本を作成・配布しています。	市教育委員会で作成している社会科副読本「わたしたちの甲斐市」を市内小学校の3・4年生に配布し、授業で活用しました。 内容の一部として「くらしの中のゴミ」を取り上げ、小学校中学年から環境問題について関心を持たせており、社会科副読本の中で紹介しているゴミ処理施設の見学も校外学習という形で実施しました。 また、本市の直近の環境データ等を掲載しながら、様々な環境問題や取組等を紹介した環境副読本を作成し、小学校5年生に配布しました。 市内公民館において、市民の参加募集を行い環境教育の講座を開催しました。 内容 エコクラフト教室 3回開催延べ38名参加 自然のチカラで家じゅうキレイ（EM菌） 2回開催延べ18名参加	環境課 学校教育課 生涯学習文化課
環境に関する各種イベントの企画 【指標 2 5】	環境講座、環境ツアー等を企画し、市民、児童・生徒等の学生、事業者への情報提供や環境保全意識の啓発を図っています。	環境に関する意識の向上や地球温暖化や省エネ、自然環境の保全をテーマとした市民参加型の講座等を開催しています。 平成26年度は、環境講座2回、環境ツアー2回を実施し、計4回の市民参加型学習会を開催しました。 ○環境講座 ・緑のカーテンづくり講座（5/17） 24名参加 ・自然観察会「ふるさと自然観察路散策」（11/6） 16名参加 ・ラザ エコ博（10/25・26） 120名参加 ○環境ツアー ・自然観察ツアー「高尾山散策」（10/3） 40名参加 ・親子環境ツアー「はまぎんこども宇宙科学館」「三菱みなとみらい技術館」（11/8・15） 40組80名参加 [指標 2 5] 環境教育 2回 環境に関する各種イベント 5回 合計7回	環境課
環境に関する情報の提供 【指標 2 9】	環境に関するトピックスや最新情報、イベント開催等の情報を提供しています。	広報に「環境トピックス」の欄を設け、環境に関する情報を発信するとともに、ホームページの充実に向けて、市民との情報の共有を図りました。 [指標 2 9] わくわくフェスタにおいて、環境ブースを設置し、PRを行った。→参加人数61,000人	環境課

【環境指標一覧】

	指標名	現況値		平成 26 年度 実績値	平成 27 年度 目標値	担当課
1	生活排水クリーン処理率	82.5%	H22	91.1%	85.3%	環境課
2	地域の清掃や美化活動に参加した市民の割合	76.8%	H21	71.6%	80.0%	環境課
3	平均BOD値が3mg/L以下の中小河川の割合	70%	H22	89.5%	78%	環境課
4	公害苦情の件数	201件	H22	165件	150件	環境課
5	認定農業者数	20人	H21	20人	24人	農林振興課
6	耕作放棄地率	26.7%	H22	20.2%	24.1%	農林振興課
7	都市農山村交流事業への参加者数	18,776人	H21	15,716人	21,000人	農林振興課
8	自然環境保全地域の指定数	1ヶ所	H21	1ヶ所	1ヶ所	環境課
9	自然観察会等の開催回数	0回	H21	2回	3回	環境課
10	天然記念物の指定数	17	H22	16	17	生涯学習文化課

	指標名	現況値		平成 26 年度 実績値	平成 27 年度 目標値	担当課
1 1	景観地区の指定が望まれる面積	49.3ha	H21	49.3ha	49.3ha	都市計画課
1 2	地域に合った街並みがあると感じる市民の割合	68.6%	H21	68.8%	73.0%	都市計画課
1 3	自然保護活動に参加する市民の割合	12.6%	H21	12.0%	15.0%	環境課
1 4	計画的で秩序ある土地利用が行われていると感じる人の割合	54.9%	H21	55.8%	60.0%	都市計画課
1 5	まちが花と緑に囲まれていると感じる市民の割合	54.4%	H19	61.7%	60.0%	都市計画課
1 6	市民 1 人当たりの都市公園面積	6.13 m ² /人	H21	7.0 m ² /人	7.5 m ² /人	都市計画課
1 7	ごみのリサイクル率	15.9%	H22	15.2%	19.0%	環境課
1 8	一人一日あたりのごみ排出量	619.2 g	H22	602 g	610 g	環境課
1 9	一般家庭廃食油回収量	1,546L	H22	2,233L	2,000L	環境課
2 0	再生可能エネルギーによる発電設備の施設数	4ヶ所	H21	15ヶ所	10ヶ所	環境課

	指標名	現況値		平成 26 年度 実績値	平成 27 年度 目標値	担当課
2 1	市民の再生可能エネルギー設備利用率	2.85%	H22	7.33%	7.64%	環境課
2 2	公共交通機関の便利さに対する市民の満足度	15.1%	H21	36.2%	23.0%	企画財政課
2 3	乗用車の世帯あたり保有台数	1.04 台	H21	0.98 台	1.00 台	企画財政課
2 4	甲斐市地球温暖化実行計画の目標達成率	2.43%	H22	15.08%	4%以上 (H24)	環境課
2 5	環境学習イベントの開催回数	4 回	H22	7 回	7 回	生涯学習課 環境課
2 6	市民公募委員を含む審議会などの割合	2.0%	H21	13.0%	30.0%	総務課
2 7	市内に主たる事務所を置く環境の保全を活動内容に掲げるNPO法人の数	9 団体	H21	8 団体	12 団体	市民活動支援課
2 8	パブリックコメントを求めた件数	5 件	H21	9 件	7 件	秘書政策課
2 9	全市的な催し・イベントへの参加者数	50,000 人	H21	61,000 人	55,000 人	商工観光課